

個別目標 2-3 | ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2-3-3

大田区の観光を世界に発信します



【10年後のめざす姿】

- 区内外から多くの観光客が大田区を訪れ、大田区の「知る人ぞ知る魅力」を楽しんでいます。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
住んでいるまちが、訪れて楽しい地域になったと思う区民の割合(%)	-	35%	50%
大田観光協会ホームページの年間アクセス数(件)	496,203件 (平成19年度)	545,000件	573,000件

【現状と課題】

大田区には歴史・史跡や自然・公園などの魅力的な場所や、世界に誇れるものづくりなどの観光資源があり、大田観光協会やNPO*などにより情報発信をはじめとするPR活動などを展開してきました。

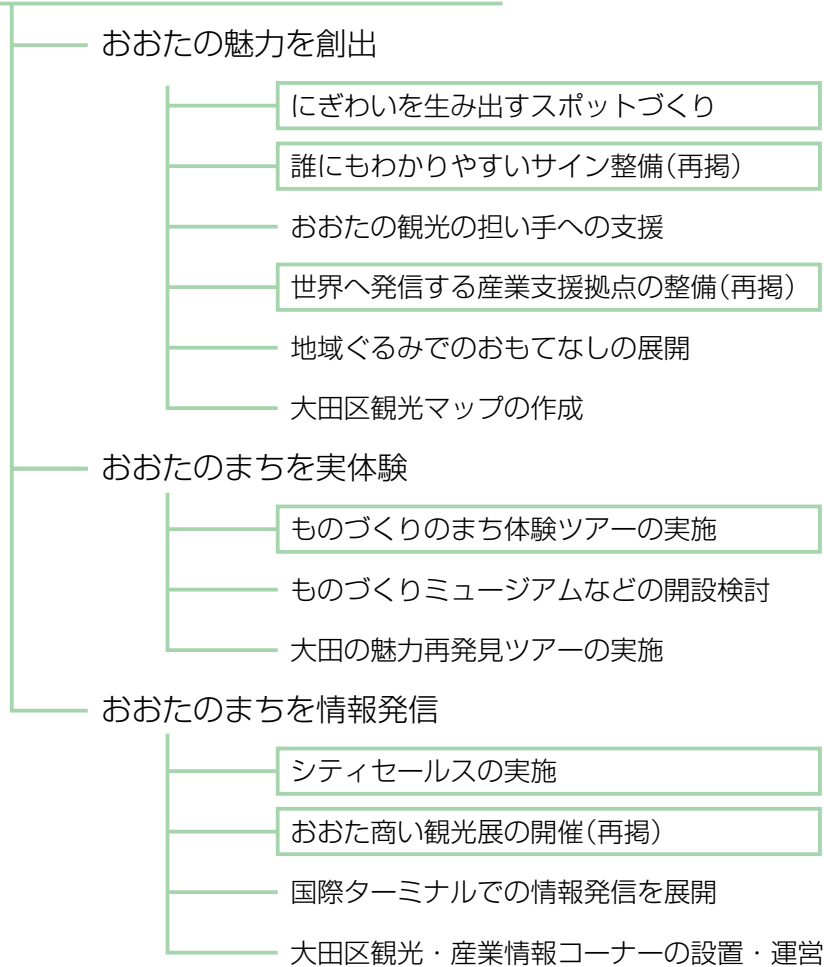
一方、区内には、一般的に知られていない観光資源も多数あり、自由な発想で新たな観光資源として発掘することが課題となっています。すでに知られている観光資源や新たな観光資源の見せ方や伝え方を工夫することで、さらに多くの人々を引きつけることが可能となります。

平成22年の羽田空港の国際化は、外国人旅行者を誘致する最大の機会です。この好機を活かし、多国語による情報発信など戦略的にシティセールス*を展開するとともに、観光の視点からのまちづくりや誰もが安心して大田区を訪れ、楽しみ、親しむことができる受入れ環境の整備が求められます。

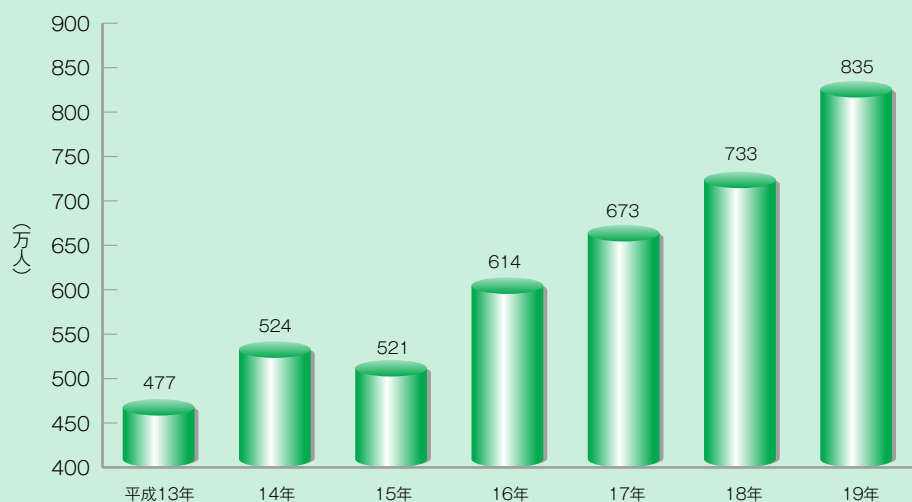
【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

大田区の観光を世界に発信します



訪日外国人旅行者数の推移



出典：日本政府観光局 (JNTO)

【施策の方向性と主な事業】

①おおたの魅力を生み出す

大田区の魅力を高め、それをわかりやすく伝えるため、観光推進団体と連携しながら、観光資源を発掘するとともに、誰もが安心して大田区を訪れ、楽しむことのできる環境の整備を進めます。

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理		→					検証
新たな観光コースづくり		→					検証
観光コースのPR		→					検証

計画事業名	誰にもわかりやすいサイン整備(再掲) →詳細は、P68を参照してください。
-------	---

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備(再掲) →詳細は、P122を参照してください。
-------	--

②おおたのまちを実体験

大田区の魅力のひとつであるものづくりをより多くの観光客に知ってもらえるよう、ものづくりを体験できる環境の整備を進めます。

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
事業化に向けた検討		→					
体験ツアーの実施		→					検証

③おおたのまちを情報発信

大田区の魅力を多くの方に知っていただくとともに、より多くの方に大田区を訪れていただくため、大田区の情報を積極的に発信します。

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区内情報のPR		→					検証

計画事業名	おおた商い観光展の開催(再掲) ➡詳細は、P137を参照してください。
--------------	---



多くの人でにぎわう 洗足池公園



夏の風物詩 花火の祭典